

2016年(平成28年) 8月発行



議会だより

第10号


△ 平成筑豊鉄道糸田駅(愛称：グリーンドーム糸田)
平成7年3月新築

野見山正博氏 撮影

おもな内容

- 執行部紹介 P2
- 研修視察 P3
- 一般質問(町政を問う) P4 ~ P10
- 委員会報告 P12 ~ P13
- 議会活動(災害支援) P14
- まちはどうなっちゃうと P15

新公立病院改革プラン
策定委託料約664万円
詳しくはP12にのっ
ているよ



ギカイくん



たよりちゃん

糸田町議会運営委員会県外視察研修

■日 時 5月11日(水) 午後1時30分～午後3時30分
5月12日(木) 午前10時00分～正午

■場 所 豊後大野市議会・九重町議会

■内 容

◎豊後大野市議会

応対者：小野 議長

衛藤 議会運営委員会委員長

宮成 議会運営委員会副委員長

○議会運営について

▶議会基本条例等

▶質疑応答・意見交換

◎九重町

応対者：日野 議長

小川 議会運営委員会委員長

○議会運営について

▶議会会議規則反問権等

▶質疑応答・意見交換

■参 加 対 象 井手元正人・中原 昭蔵
(議会運営委員) 村上 秀二・松瀬 征行
竹田 照美・小嶋 康子
松岡 久・城島 信幸



豊後大野市の
ケーブルテレビ
中継で村上
議会運営委員
長が発言???



■立ち寄り視察■

▶豊後大野市道の駅
(原尻の滝・あさじ・きよかわ)

▶九重“夢”大吊橋



原尻の滝(道の駅併設)

平成28年度全国町村議会議長・副議長研修会(全国町村議会議長会主催) ～これからの町村議会を考える～

■日 時 5月30日(月)
午後1時00分～午後4時35分

■場 所 中野サンプラザホール(東京都)

■演 題 「地方議会の役割と改革の行方
ー住民自治の根幹をなす議会の作動ー」

講師：江藤 俊昭氏
山梨学院大学大学院研究科長・
法学部教授

■演 題 「わが町の議会活性化への取り組み」

講師：吉川 重雄氏
神奈川県大磯町議会議長

■演 題 「議会力を向上させ町長と切磋琢磨する議
会へ ～学ぶ議会と自由討議が推進力～」

講師：寺島 渉氏 長野県飯綱町議会議長

■日 時 5月31日(火)
午前9時00分～
午前11時45分

■演 題 「地域経済の活性化
が、日本の元気を
取り戻す」

講師：伊藤 聡子氏 フリーキャスター・
事業創造大学院大学客員教授

■演 題 「今後の政局・政治の動きを読む！」

講師：橋本 五郎氏 読売新聞特別編集員

■参加者 議長 井手元正人・副議長 中原昭蔵



執行部

教育長
福澤 秀昭

町長(執行長)
佐々木 淳

副町長
森下 慶治

総務課長
田崎 明夫

主な仕事
○消防・防災・
交通安全対策
○町財産の管理、処分
○選挙管理委員会

税務課長
池之上久美子

主な仕事
○各種の町税賦課徴収
○固定資産の評価
○債権対策班
(税等の未納者対策)

住民課長
河端 高博

主な仕事
○国保・年金・戸籍
○ゴミ・衛生
○保健センター事業

福祉課長
谷口金次郎

主な仕事
○生活保護・介護・
高齢者・障害者福祉
○児童福祉・保育所
○隣保館・社会福祉センター事業

土木課長(新設)
加治 昭生

主な仕事
○土木・道路・河
川・鉱害
○労働対策事業
○国土調査

建築課長(新設)
長尾 浩昭

主な仕事
○公営住宅の建
設、処分、管理
○建築関係

地域振興課長(新設)
井上 淳

主な仕事
○商工業・農林業
○観光・産業の活性化
○総合開発計画等

水道課長
田中 浩一

主な仕事
○水道事業全般

町立病院事務長
平 直修

主な仕事
○病院事業

教務課長
谷川 雅浩

主な仕事
○学校教育・社会
教育
○町民会館の運営、管理
○人権教育、同和教育

議 会

糸田町議会議員

井手元正人	早麻 章三
中原 昭蔵	谷口 輝昭
山田 陽一	松岡 久
竹田 照美	村上 秀二
小嶋 康子	城島 信幸
田中 隆之	松瀬 征行

議会事務局

主な仕事
○議会事務全般
○監査事務全般



局長
永原富久美



係長
大原総一郎



継ぎを目指して頑張っている。

答弁(町長) 2・3カ月経過した。完全にできたと言いたいのが完全引き継ぎを目指して頑張っている。

答弁(課長) 住民に迷惑をかけないよう対応していると思っている。

たか。

質問 住民サービス等に支障のないように完全に引き継ぎはできないか。

A 完全引き継ぎを目指して頑張っている。

Q 人事異動について問う。



6番 谷口 輝昭 議員

きないと考えた。

答弁(町長) 人件費、物価の高騰、品質確保の促進等について楽観視できないと考えた。

質問 100万から130万に引き上げた理由は。

A 楽観視できないと考えている。

Q 随意契約について問う。

質問 建設業の種類の中には草刈り業と言うものはない。又抽選は随意契約とは異なり、委託のほうに当たるのではないか。

答弁(町長) 「糸田町内草刈抽選会実施要項」により業者参加資格を第2条で「抽選会の参加業者については当該年度の土木一式工事格付表のC及びDランクに格付された業者並びにいずれのランクにも格付されない町内業者とする」としており、草刈りだけであるならば業の許可がない

たか。

一般質問とは

議員が町の仕事全般について、現状やこれからの考えについて質問したり、政策提言をおこなうことで、定例会のみでおこなわれます。糸田町議会では通常一人50分以内でおこない、議会だよりには、要約したものを掲載しています。6月議会より本議会もクールビズになっています。

10番 城島 信幸 議員



Q 町立緑ヶ丘病院の耐震工事について。

A 病院改革プランを策定し、長年の懸案である病院改革、大決断したい。

質問 町立病院の耐震工事について問う。町立病院の2階、3階それぞれの築年数及び建物の耐用基準年数を問う。

答弁(事務長) 旧館が昭和41年で50年が経過、新館については昭和54年で37年が経過している。改革プランが皆様方に認め



られたならば速やかに進め、いち早く議員に報告し、長年の懸案である町立病院改革を大決断したいそう考えている。

Q 糸田町ゴミ袋代の料金改定の検討について。

A 福智町の材質に合わせたかどうか変わるか調査し結果を報告したい。

質問 ごみ袋代について問う。燃えるごみ、大で糸田町10枚800円、福智町650円、香春町514円、添田町630円、川崎町525円、赤村525円、田川市400円となっている。高く設定されている理由があれば説明願いたい。

答弁(課長) 本町は伸びて破れにくいごみ袋を採用している為、素材の違いにも価格差が生じていると思う。今の袋でも結構だが町が補助してでも料金改定をおこなっていたきたい。

答弁(町長) 福智町の材質に合わせたかどうか変わるか早急に調査し報告したい。

Q 水道料金改定について問う。

A 平成30年水道企業団一本化により加盟自治体全部同じ料金を目指す。

質問 糸田町の水道料金は県下で2番目に高く田川市郡内では一番となっている。剰余金で還元すべきでないか。

答弁(町長) 平成30年に統合の時期が近づいており、加盟している水道企業団が一本化する。理想論だが加盟自治体全部同じ料金を目指す。



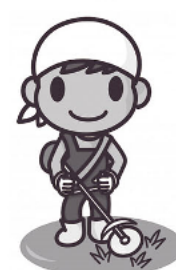
Q 国民健康保険税の課税項目について問う。

A 平成30年度から県の運営により算定基準を平準化に向け協議したい。

質問 国民健康保険医療分の項目で資産割40%は公平性に欠けていると思う。

答弁(町長) 平成30年度から県が主体で保険料算定基準を平準化できるように県及び各自治体と協議していき

でよいのではないかと思われるが草刈り後道路上の土砂の除去の作業もある。今後いろいろな意見調整していきたい。しかる場所でもた報告したい。



Q 宮床団地建設の進捗状況等について。

A 10月末完成予定、12月中入居予定。

質問 完成予定と入居予定は。

答弁(課長) 10月末完成予定、12月中に入居予定。

質問 入居条件はどのように考えているか。

答弁(課長) 基本的に住宅家賃の滞納のない方。

質問 団地建設に当たり業者から問題点として指摘をされた事はないか。

答弁(課長) 現在のところない。



△ 平成28年7月現在

Q 東京出張による打ち切り旅費の改定について。

A 7月より交通費の領収書を添付、改正は理解いただけるよう頑張る。

質問 東京出張の旅費ですが他町村は領収書が必要である。糸田町のみ打ち切り旅費となっている。旅費の改定をお願いしたい。

答弁(町長) 旅費の精算については7月1日から交通費の領収書を添付するようにしている。

Q ふるさと納税の推奨にあたり納税に対する期待について。

A 納税目標額約1千万円、約15から20種類の返礼品を考えている。

質問 ふるさと納税について問う。推奨に当たり本年度の目標金額及び返礼品の種類、数を問う。

答弁(課長) 約1千万円を目標として設定している。約15種類から20種類の返礼品が実現できればと考えている。

答弁(町長) 品ぞろえも準備が整えばかなりの実績が上がると期待している。



答弁(町長) 課長の申し上げたとおりにつきる。

質問 熊本地震後の全団地の実態調査はおこなったか。

答弁(課長) 真岡団地。堀川の一部、1割程度。

質問 今後の団地建て替えはどのように考えているか。

答弁(町長) 時が来たらあとの計画については具体化に向けて協議を進める。

質問 保育料は、前年度の所得に応じて算定されるが、町は国の基準に沿って所得割課税額39万7千円以上は保育料が10万4千円、これは3歳未満の乳幼児だが、田川市などは7万円。市町村によって差がでている。

答弁 若い世代が子育てしやすい町づくりにすれば、定住促進にもつながり、町の税収もアップすると思う。上限の額を引き下げはどうか。

福祉関係、総合的に、総合調整したい。できるだけ早い時

A 財政力の問題だ。慎重に可能かどうか。確認した上で検討したい。

Q 定住促進にもつながる保育料の上限額を引き下げはどうか。



3番 小嶋 康子 議員

質問 自然災害に備えるための指針「国土強靱化基本計画」は、現場の町としてどのように進められているか、豪雨が発生した場合、避難勧告の発表から避難所の開設、災害派遣要請など自治体がとるべき行動の時系列でまとめたタイムライン

A 時系列で整理した防災行動計画(タイムライン)を作成している。

Q 減災に向けた水害対策はどのように進んでいるか。



期に見直しをしたい。財政力の問題なので慎重に可能かどうか確認した上で検討したい。逃げずに協議していく。



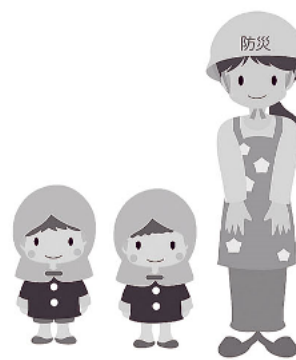
の作成はできているのか。宮床の水害からどのように対策が進んでいるかを問う。

答弁 台風接近時の防災計画として遠賀川流域の各市町村の避難勧告等の発令に着目した洪水対応のタイムラインを作成している。

宮床の水害に伴い国土交通省に働きかけ、井堰を自動化にしている。宮床に排出する施設が、急激な水位の向上によりポンプが使い物にならなかった。ポンプも変え、高さも上げ、水につからない対応をしている。

A 被災された市町村に対処方法を教えてもらう。ヘルプカードを普及。

Q 障がい者への対応。あなたの手助けが必要ですよのカードの導入。



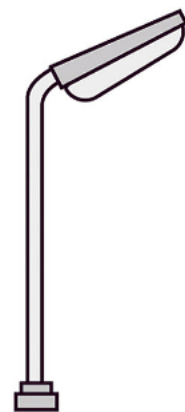
A 広報紙で防災情報を提供していきたい。防災の日は協議したい。

Q 防災意識を高めるため町の防災の日を決めてはどうか。



A 保育所は設置予定。学童クラブは協議をし、取り付けたい。

Q 保育所・学童クラブの防犯カメラ設置の進捗状況について問う。



A LEDの調査・交換は補助で実施予定。本体はリースとなる。

Q 街路灯事業の取り組みについて問う。



9番 中原 詔蔵 議員

Q 学校給食施設(センター)の今後の取り組みについて問う。

A 基本設計の予算を議会で承認されて、平成30年度に着手する方向で考えている。

質問 文部科学省の趣旨は、次のように述べている。「学校給食の普及充実及び安全な学校給食の実施を図るため、公立の義務教育諸学校における学校給食施設の整備に要する経費の一部を国庫補助し、その促進を図る」とのことである。

本町の学校給食施設は、築46年になる老朽化した施設ではないかと思う。児童生徒に提供する学校給食は当然のように安全で安心して食することがなによりも大切なことである。



このような観点から、老朽化した学校給食施設の対策を講じることが必要ではないかと思う。それは、施設の改築である。

文科省の安全・安心な学校づくり交付金の事業概要についての資料がある。この中の学校給食施設整備事業について示されているので、紹介する。公立の義務教育諸学校国庫補助事業細目ということで、学校給食施設の新增築算定が2分の1のこととである。もう1点が、学校給食施設の改築、これの算定割合が3分の1のことである。

あと付帯施設、これも補助対象に

なっている。このような国庫補助事業制度があるので、活用し、ぜひ給食センターの環境改善のためにも改築等について、検討をしていただきたいと思う。

このことについて教育長の考えを問う。

答弁 センターの今後の取り組みだが、平成26年度調査業務の予算をいただいた町内5箇所の建設候補地を検討してきた。しかし、一長一短あり、いまのところ、場所は決まかねている。

今後、建設に当たっては、人数の多い小学校の敷地内に建てるのが一番効率的であると考えている。早急に候補地を決定して、本年度中に基本設計の予算を議会で承認後、平成30年度に着手する方向で考えている。

ただ、最近、田川市が全中学校、給食がなかったのを来年度から給食にするということで、ランチボックス方式というのがあり、業者が、容器に給食を盛り付け、10度以下に冷やして学校に持ってきて、それを再度給食時に温めて、それを配食する方法が新聞に出ていた。これもひとつ検討していきたい。

答弁(課長) 要因は漏水が考えられる。漏水の量が収益に影響、有収率1%当たり297万円が損失額、収益に影響を受ける。

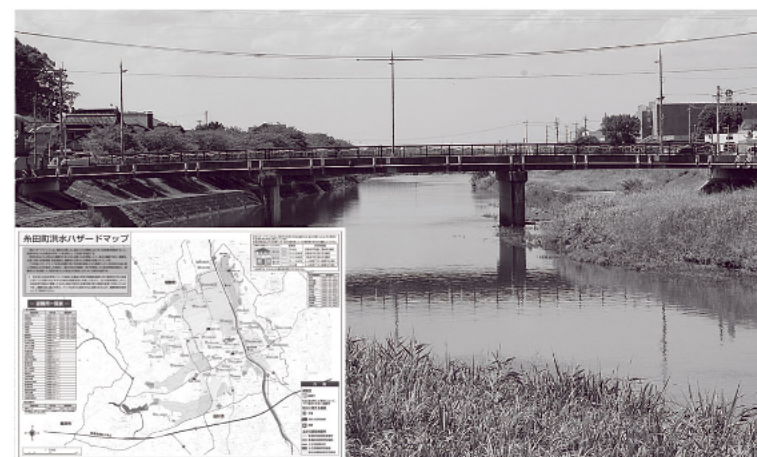
質問 水道事業で、上水道会計の経営健全化を図る為に有収率の向上が重要な課題、有収率は全国平均で90・2%、糸田町の平成26年度実績が63%と全国平均から乖離が有る。有収率の低い要因とその低い63%の有収率について、糸田町としての見解を問う。

A 要因は、ほとんどが漏水と考えられる。

Q 水道事業の中の有収率の低い要因について問う。



7番 松岡 久議員



質問 4月の熊本地震のように突発的な大規模災害への備えと実動できる体制構築など防災に関する施策が課題、例えば大雨等で中元寺川が氾濫した場合、浸水する地域は

A 平成25年6月に配布した糸田町洪水ハザードマップに図示。

Q 大雨で中元寺川が氾濫した場合、浸水地域は把握されているのか。

答弁(課長) 貴船団地の中の車両通行問題、糸田町の看板設置後の通行量の調査結果を問う。

質問 貴船団地の中の車両通行問題について問う。

A 本年5月より、交通量調査を実施。

Q 貴船団地の車両通行問題について問う。

答弁(町長) 昨年度緊急避難施設予算計上、建設候補地が確定し、できるだけ早急に建設に向けて着手したい。

把握されているのか又、浸水した地域の住民が避難する場所は決められているのか問う。

答弁(課長) 中元寺川が氾濫した場合の浸水域ですが、平成25年6月配布した糸田町洪水ハザードマップに図示、住民の避難先場所は公

答弁(町長) 前町長、前田川市長から引き継ぎ、田川県土整備事務所へ要望を継続している。平成27年1月、平成28年2月に両首長で、田川県土整備事務所へ要望について陳情、今後田川市と協議しながら継続して取り組んで行きたい。

質問 糸田町と田川市が進めている、県道香春糸田線問題について、現在の状況と今後どう進めていくのか町長に問う。

A 田川市・糸田町で田川県土事務所へ要望。

Q 県道香春糸田線問題について。

ている。団地内中通りの方は38%程度。田川市から団地内は約38%。周辺住民の要望について、地元の方でアンケートをとってもらい一方通行案・カラー舗装案・マウンド案等個別要望をしてもらっている。これについては通りの住民のみでなく、貴船行政区の問題であるので、もう少し要望等の集約をお願いしている。

1番 山田 陽一 議員

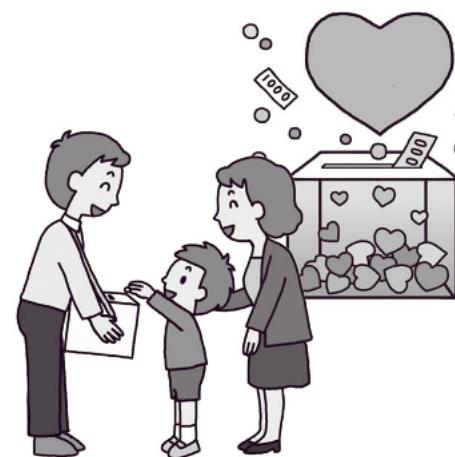


Q 熊本地震災害の復旧、復興活動を今後どのように支援していくのか。

A できる限りの支援の手を続けていく。

質問 6月14日で、熊本地震から丸2カ月が過ぎた。現在も被災者は約6,400人、自宅外で暮らしている方が居る。多くの方が車中泊等、困難な生活を続けなければならぬ状況にある。この2カ月間で町はどういう支援をおこなってきたのか。

今後の復旧、復興は長い年月がかかる。今後、住居提供等を考えているか。もし考えているのであれば準備はできているか。現在、団地は空き家がない状態。民間の空き家を活用して提供を考えているか。協議をして対策をとっていただきたい。今後も積極的に支援を続けていく事をお願いする。



答弁(課長) 震災地より1件、住居提供の申し出があったが、その後に辞退の申し出があった。民間の活用は、委員会をつくって協議し対応を考えていきたい。

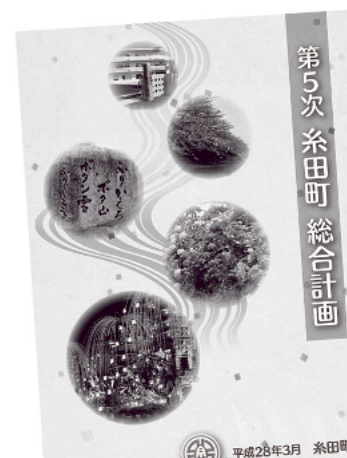
支援の手は、人、物、金です。人的支援は男性職員数名を行かせた。物はダンブ山盛り積んで、水を中心に食糧、物の支援を行った。義援金活動をずっと当初からしている。1回目は31万3,248円、2回目は、52万6,836円現地に送り届けている。

Q 2060年の目標人口7,000人を維持するための政策は。

A 10年間を見据えた町づくりの方向性を明らかにし事業展開を進めている。

質問 糸田町の人口は、2060年の予想で、約4,600人になると推測されている。

町は目標人口を7,000人に維持すると決めているが達成するには努力が必要になる。人口減少の一番の原因は、若年層の転出。町が毎年、新規採用に地元の方を採用する受け入れ体制をとれば少しは改善できるのではないかと。人口が減少すれば町を維持するのも困難になる。今後さらなる努力と、良い政策を打ち出していきたい。



第1部 (総論)	1
第2部 (基本情報)	11
第3部 (前期基本計画)	21
第4部 (中期基本計画)	29
第5部 (後期基本計画)	35
第6部 (附則)	37
第7部 (索引)	39
第8部 (別添)	41
第9部 (別添)	43
第10部 (別添)	45
第11部 (別添)	47
第12部 (別添)	49
第13部 (別添)	51
第14部 (別添)	53
第15部 (別添)	55
第16部 (別添)	57
第17部 (別添)	59
第18部 (別添)	61
第19部 (別添)	63
第20部 (別添)	65
第21部 (別添)	67
第22部 (別添)	69
第23部 (別添)	71
第24部 (別添)	73
第25部 (別添)	75
第26部 (別添)	77
第27部 (別添)	79
第28部 (別添)	81
第29部 (別添)	83
第30部 (別添)	85
第31部 (別添)	87
第32部 (別添)	89
第33部 (別添)	91
第34部 (別添)	93
第35部 (別添)	95
第36部 (別添)	97
第37部 (別添)	99
第38部 (別添)	101
第39部 (別添)	103
第40部 (別添)	105
第41部 (別添)	107
第42部 (別添)	109
第43部 (別添)	111
第44部 (別添)	113
第45部 (別添)	115
第46部 (別添)	117
第47部 (別添)	119
第48部 (別添)	121
第49部 (別添)	123
第50部 (別添)	125
第51部 (別添)	127
第52部 (別添)	129
第53部 (別添)	131
第54部 (別添)	133
第55部 (別添)	135
第56部 (別添)	137
第57部 (別添)	139
第58部 (別添)	141
第59部 (別添)	143
第60部 (別添)	145
第61部 (別添)	147
第62部 (別添)	149
第63部 (別添)	151
第64部 (別添)	153
第65部 (別添)	155
第66部 (別添)	157
第67部 (別添)	159
第68部 (別添)	161
第69部 (別添)	163
第70部 (別添)	165
第71部 (別添)	167
第72部 (別添)	169
第73部 (別添)	171
第74部 (別添)	173
第75部 (別添)	175
第76部 (別添)	177
第77部 (別添)	179
第78部 (別添)	181
第79部 (別添)	183
第80部 (別添)	185
第81部 (別添)	187
第82部 (別添)	189
第83部 (別添)	191
第84部 (別添)	193
第85部 (別添)	195
第86部 (別添)	197
第87部 (別添)	199
第88部 (別添)	201
第89部 (別添)	203
第90部 (別添)	205
第91部 (別添)	207
第92部 (別添)	209
第93部 (別添)	211
第94部 (別添)	213
第95部 (別添)	215
第96部 (別添)	217
第97部 (別添)	219
第98部 (別添)	221
第99部 (別添)	223
第100部 (別添)	225

答弁(課長) 人口減少の抑制や移住定住に特化した総合戦略の施策として助成事業を28年度から実施している。

定住促進を実現させるには町内に雇用の場所の確保が必須条件になる。商工会と連携を密にして創業支援も同時に力を入れていく。

答弁(町長) 職員の採用は地域性はとってない。まず学科試験を採点してラインを決めている。仕事をこなす、住民のためになる、人物本位でしている。

平成28年第2回糸田町議会定例会（6月14日～6月23日）

「○」賛成 「×」反対

件名	結果	山田	竹田	小嶋	田中	早麻	谷口	松岡	村上	中原	城島	松瀬	井手元
専決処分について（糸田町税条例等の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
専決処分について（行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
専決処分について（平成27年度糸田町一般会計補正予算）	承認	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
専決処分について（平成28年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算）	承認	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
糸田町重度障害者医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
糸田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
平成28年度糸田町一般会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
平成28年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
平成28年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
平成28年度糸田町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
平成28年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
平成28年度糸田町上水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
町道路線の廃止について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
田川郡東部環境衛生施設組合の共同処理する事務の変更及び田川郡東部環境衛生施設組合規約の変更について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－
糸田町と大任町との間のし尿及びじん芥処理施設の建設に関する事務の委託について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	－

※ 議長に採決権はないため「－」としています。可否同数の場合のみ裁決権を行使します。
※ 「欠」は最終日欠席

議会活動

4月	5月	6月
日にち(曜日)	日にち(曜日)	日にち(曜日)
1日(金)	11日(水)	1日(水)
8日(金)	12日(木)	3日(金)
11日(月)	18日(水)	5日(日)
12日(火)	22日(日)	7日(火)
18日(月)	25日(水)	10日(金)
	26日(木)	14日(火)
	27日(金)	16日(木)
	30日(月)	17日(金)
	31日(火)	20日(月)
	31日(火)	21日(火)
		23日(木)
		24日(金)

議長交際費

議長交際費 執行状況（平成28年4月～6月）			
	区 分	摘 要	支払金額
5月10日	交 際 費	議会運営委員会視察研修手土産代	10,238円
5月26日	慶 弔 費	商工会総会祝儀	10,000円
6月23日	慶 弔 費	チャリティボクシング祝儀	10,000円
			30,238円

糸田町公式ホームページでも公開しています。

お知らせ

地球温暖化防止対策のため、
6月議会より本議会も
クールビズになって
います。
(6月から10月まで)



11番 松瀬 征行 議員

Q 滞納問題を集中的に問う。
債権対策班の費用対実績の
検証は。

A 費用対効果も重要であるが
町民の公平性を保つことに
意義がある。

質問 公正、公平な町づくり＝滞納
問題対策について質問する。
滞納対策として4月に設置された
「債権対策班」のスタッフとその統
括者、徴収期間について。

答弁(町長) 職員2名、嘱託職員1名の3
名体制、統括者は税務課長、
徴収期間は、滞納整理の目途がつく
までの当分の間とする。

質問 徴収取組の行動について。
債権対策班が事務局で各課
の担当者による債権対策プロ

ジェクト委員会では年間計画の策定を
する。副町長が委員長の徴収対策委
員会に諮りこの計画に基づき徴収行
動をおこなう。

質問 費用対実績（効果）の検証に
ついて。

警察OBの嘱託職員の給料及びそ
の他諸費用に対する実績をどの様な
計画で検証分析されるのか問う。
答弁(町長) 債権対策班の設置の人員費と
滞納整理した金額の差が実績
となる。検証は、28年度の決算後と
なる。

Q 町営家賃滞納問題を問う。
宮床町営建替2棟分54戸の
入居状況は。

A 滞納のない世帯が入居する。
12月に判明するので現在は
未定だ。

質問 町営家賃滞納額とその原因、
町営全体の入居世帯数を問う。
答弁(町長) 町営家賃滞納総額は、約1億
6,790万円。

町営住宅714世帯が入居して
いる。

滞納の原因は築豊地区は雇用の場
が少ない。本町は高齢化率が高く
低額の年金受給者が多いのが背景に
ある。

質問 入居の契約と今後の連帯
保証人等のチェック機能につ
いて。

入居の契約は、請書で締結し
誓約書も提出させる。連帯保
証人の死亡、病気等のチェックは、
今までおこなっていない。

質問 宮床町営建替新家賃制度と入
居者対応を問う。

答弁(課長) 公営住宅建替事業に伴う家賃
の特例として緩和措置を実施



△ 宮床団地B棟 完成予想図

する。緩和措置とは、旧家賃と新家
賃の差額を6で割り1年ごと6分1
ずつ段階的に上げ6年間で満額と
なる。

質問 新家賃での滞納なしの入居拒否者
は、民間か他の町営団地を紹介する。

滞納世帯の対応についての
行政の具体的な施策、基準、
ルールを明示されたい。

答弁(課長) 3カ月に一度催告書を送付す
る。納付に応じない方は、債
権対策班と連携して法的措置を実施
する。

Q 滞納問題への基本姿勢につ
いて。

A 滞納者は入居させない姿勢
で強く臨んでいる。

質問 町長が先頭に立って指導力を
発揮する等「滞納問題」への
基本姿勢を問う。

答弁(町長) 例えば給水ストップせよと強
い決意で臨んでいる。法的に
積極的な解決を進める。宮床は、
すっきりした形で54世帯入居する。

総務文教振興常任委員会

総務文教振興常任委員会とは…

主に、総務課・税務課・地域振興課・教務課に関する事項を審議調査します。

コミュニティ助成事業 250万円 (平成28年度補正予算)

説明 宝くじの収益によっておこなう事業。昨年27年にホームページと広報で募集。中糸田行政区が採択された。

Q この事業の周知は、されていたのか？

A ホームページ及び広報に掲載。平成28年は広報紙6月号に掲載。



プレミアム付 地域商品券助成金 (平成28年度補正予算)

説明

プレミアム額、100万円に対して60%を町が負担。負担額60万円。
10,000円で11,000円分の商品券、1,000冊発行。

教室LED照明 増設工事 (平成28年度補正予算)

説明

現在、教室が暗いため増設。
14教室で各2灯 約76万円

Q 入荷は、どのようにするのか？

A 町内業者を主体にする。



経営所得安定対策 直接支払推進 事業費補助金 (平成28年度補正予算)

説明

水田協議会に約48万円を事務費として支払。

水田協議会って
どんなところ？



農家の所得安定対策を
進めているところかな。

真光寺グラウンド 整備工事 (平成28年度補正予算)

Q 水はけは、いいか？

A 1塁側、3塁側の暗渠排水工
事をするにより、水は
けが改善。

工事費 約44万円



税条例の一部改正 (専決処分)

説明

固定資産税の課税標準の特例措置。糸田町においては、太陽光発電が該当する。
課税標準の減額は、3分の2に減額。適用延長は、2年。

建設厚生常任委員会

建設厚生常任委員会とは…

主に、住民課・福祉課・建築課・土木課・水道課・町立緑ヶ丘病院に関する事項を審議調査します。

新公立病院改革プラン 約664万円 (平成28年度補正予算)

経緯

第1次改革プラン後も医師不足など厳しい環境があり、持続可能な経営が確保しきれない病院が数多く、総務省は地域ごとの再構築のため、第2次の公立病院改革プラン(新設・立替を含む)の策定を求めている。

Q 補助金はあるのか

A 補助事業ではないが、特別交付税が約200万出る予定。

Q 今の病院の財政状況でこれだけの費用をかけて計画を立てる必要があるのか

A このままの状況では、病院の継続は不可能。糸田町にふさわしい指針を出したい。

要望

捨て金にならないように、住民の考えも考慮し、計画に沿って確実に実行をしてもらいたい。



重度障害者医療費 の支給に関する 条例等の一部改正

説明

福岡県乳幼児医療費支給制度が福岡県子ども医療費支給制度に改正されることにより、重度障害者医療費に関する所得制限の変更をおこなう条例改正



街灯LED照明導入 費用 約760万円 (平成28年度補正予算)

説明

◆LED照明導入等委託料
(街灯調査等) 約459万円

◆LED照明リース料
10年で10回払い
(総額約3,000万円)
平成28年度分 約301万円

Q 町内の街灯設置数は？

A 現在は、1,391基、その内LED21基



西保育所補修工事 約97万円 (平成28年度補正予算)

Q どのような状況なのか？

A 天井裏の老朽化コンクリートが剥離して崩落している。

要望 人身事故にならないように、頻繁に点検を望む。

保育所ビデオ カメラ購入費 (平成28年度補正予算)

◆事故防止用のビデオカメラ

東・西保育所 20万円

県の補助金 補助率4分の3





金山アジサイ園
と工事進捗状況
のお知らせ



金山アジサイ園

平成27年度予算で階段と手すりが完成。
「手すり設置や階段の幅が緩やかなため歩きやすい」と観光に訪れた人たちから大変好評でした。



福岡県立田川科学技術高等学校から同校のシステム科学技術科 建築・環境創造専攻の生徒作成のテーブルとイス3セットが寄贈されました。



町営宮床団地建て替え工事進捗状況



10月末完成予定
12月に入居予定

熊本県熊本地方を中心に発生しました大規模な地震は、熊本県、大分県をはじめ九州地方に甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

平成28年熊本地震における 糸田町議会の取り組み

九重町へ支援物資を直接持参

◆平成28年4月14日(木) 熊本地方で、午後9時26分ごろ、震度7の大地震発生。

◆平成28年4月16日(土) 午前1時25分ごろ、2回目の大地震発生。

◆平成28年4月20日(水)

議長の要請を受け、議会運営委員会で協議をおこない、九重町への支援物資の持参を決定。**飲料水20 1,020本及び食料を調達。**

(余震が続いていること、一般の車が自衛隊等の支援物資搬送の妨げになっていること、熊本県に物資が集中し、大分県である九重町は、800世帯弱の断水が続き、飲料水等が不足していることを勘案して決定)

◆平成28年4月22日(金)



議長、副議長、副町長、議会運営委員会のメンバーで支援物資を届け、大変喜んでいただいた。九重町の坂本町長、日野議長より九重町の災害状況や断水対策を聞き、復旧に頑張っていたきたい旨伝え帰庁。

断水対策の話の中で、ポリ缶が不足して、飲料水の配布に困ったとのことで、災害時に物資の備蓄が本当に必要であることを実感した。



△九重夢大吊橋
(パンフレットより)



◆平成28年5月25日(水) 大分県九重町災害対策本部長(坂本和昭町長)より礼状届く。

熊本県御船町へ義援金を送金

◆糸田町議会では、平成28年熊本地震とその後の地震及び6月の大雨の災害での被災者支援に役立てていただくため、6月30日に糸田町議会議員全員による義援金12万円(12名の個人拠出によるもの)を、熊本県御船町へ送金いたしました。



練習風景は真剣そのもの。誰も手を抜くことなくキビキビとした動きを見せ、表情は生き生きとして楽しそうなのが印象に残る。厳しさと優しさが同居する確かな指導のもと、今後より精悍に育っていったくれるのではないかと胸が躍った。これからの活躍に期待したい。

これまでの歴史の中には全国大会(女子・型の部)での優勝をはじめ、数々の輝かしい実績を持つ。

主な活動の拠点は中学校武道場だが、たまに町内外の合同練習として糸田町立体育館で研鑽に励んでいる。

道場に入ると、大きな声での挨拶が響き渡った。先生の合図で練習をやめて、こちらに笑顔で近づいてくる小さな空手家たち。心技体ともに鍛えられているのがすぐにわかった。なによりも礼節正しい姿にこちらも引き締まる。



議会を傍聴に来ませんか

- 議会の定例会は(年4回)3・6・9・12月に開催されます。
- 本会議は、住所と氏名を記入だけで傍聴できます。
- 委員会は、委員長許可により傍聴できます。
- 次回第3回は、9月上旬に開催予定です
(詳細につきましては、決定次第、防災行政無線等でお知らせします。)

「議会だより」アンケート募集中!

皆様の声をお聞かせください。

設置場所

- ・糸田町役場1階 住民課前
- ・糸田町役場3階 議場傍聴席入口
- ・糸田町社会福祉センター 入口正面



編集後記

◀ 庁舎前に咲くマロニエの花
(セイヨウトチノキ)



猛暑の中、一般質問の内容に合わせた写真を撮りに行く。変わりゆく町の中、旧と新、老朽化した建物をまじまじと見る。

中元寺川沿いの桜も植樹から30年は過ぎただろうか。花が散り、新緑から濃い緑の葉が青空をバックに茂っている。人口減少する町、いい方向に向かっているのか、町民の方と一緒に考えていかなければと思う。

そのためのツールとしては「議会だより」は重要である。失われていくものを写真に撮り、記録として残していく事も大事である。

定例議会閉会後も広報委員会の議員は委員会を開き、議会の内容を咀嚼し、要点を絞る作業や一般質問の構成などをする。議員の発言や執行部の説明を正確にわかりやすく伝える編集に写真の効果は大きい。

広報活動を通して、町の課題に気づくことがよくある。そして、何より町民目線で考えることが第一であるという意識できることである。より良い町づくり、これからは広報委員は大奮闘!!

議会広報常任委員会

委員長 小嶋 康子
副委員長 松瀬 征行
委員 竹田 照美
委員 松岡 久
委員 中原 詔蔵
委員 井手元正人

発行責任者

議長 井手元正人

問い合わせ

〒822-1392
糸田町 1975 番地 1
糸田町議会事務局
電話 26-4353